

〔国際会議発表〕

発表研究者	理化学研究所集積バイオデバイスユニット 基礎科学特別研究員 Yalikusun Yaxiaer	2172113
参加会議	The 21st International Conference on Miniaturized Systems for Chemistry and Life Sciences (μTAS 2017)	
出張期間	2017年10月20日～10月28日	
開催場所	Savannah・USA	
発表論文		

概 要：

今回私が参加した学会は化学・生命科学マイクロシステムの国際会議であり、μTASと呼ばれ、いわゆるMEMS技術に基づいたマイクロチップに分析装置や化学プラント、生命科学の実験システムなどをマイクロ集積化する科学と技術に関する世界最大の規模と高い水準を誇る国際会議です。私はこの学会でこれまでに報告されなかったマイクロレンズの加工法を報告しました。特に、本手法では、これまで複雑なマイクロレンズの作製方法を簡略し、より実用性の高いマイクロガラスレンズの作製方法として認められました。さらに、イギリス、スイス、中国、アメリカの複数の先生方から、本手法の改善と応用に関して様々な意見をいただきました。今後本研究の進捗相談や共同研究の可能性に関する検討も行う予定があります。また、μTAS学会での口頭発表の傾向から、マイクロシステム分野は今後デバイスの実用化に軸を置き、より身近で、日常生活に影響を与え得る科学への展開を目指しているように捉えます。特に当分野の最高水準を代表するLAB on a chip誌は今後このような実用化中心とした研究論文を主に掲載する方向になることが分かりました。御財団の発表助成事業により microTAS 国際会議での発表の機会を得たことは、上記のような分野の傾向、情報収集の面で非常に意義深いものであると同時に、また研究成果を世界に対して発信する絶好の機会となりました。